



**Pick Up News** 学部での学びの先に**大学院**があります。本学建築学科からの大学院進学率は約10%ですが、他大学では30~40%の大学も多くあります。学部→就職ではなく、学部→**大学院**→就職という進路をとることで、よりそれぞれの興味・専門につながる仕事に就ける可能性も高まりますし、大学院に進学しないと就けない業種・職種もあります。2年間さらに学ぶ（自身の興味や専門を高める研究や設計活動をする）ことで、社会に出るから必要となる力が身に付き、人間としての成長をうがなします。少しでも興味を持った人は躊躇なく進学することをお奨めします。春季推薦で入学すれば奨学金もありますし、研究や教育補助業務を行うことで毎月の給与も支給されます。本学からの進学であれば、入学金・設備負担金も不要のため大幅に経済的負担も軽減されます。大学院に進学することは特別なことではありません。進路の一つとして考えてもらいたいと思います。なお本学の工学研究科建築学専攻は、来年4月より新たに**建築学研究科建築学専攻**として、**修士（建築学）**を授与できる大学院に発展します。多くの皆さんの進学を期待します。

**大学院特集です。大学院生の声を通して大学院の魅力を感じて下さい。**

1. 大学院を志した理由
2. 進学を決めた時期
3. 大学院で学んでの感想
4. 学部生へのメッセージ

## 進路としての大学院の選択

1. 修士への憧れ。
2. わからない。学部時代に就活を考えたことはない。大学院進学の道しか私にはなかった。
- 3.好きなことだけで生きていける。一方で、時間をただ浪費してしまう可能性もある。
4. 家庭環境など、進学にあたって障害がない場合、大学院へ進学したほうがいいでしょう。まだあなたの知らない奥深い建築の世界が待ち構えていることだろう。（福屋研 五十嵐健太）

1. より深く建築構造について学びたいと思ったから
2. 3年生の時
3. 学部生の時よりも専門的なことを学ぶことができるので、とても楽しい
4. 大学院生になっていろいろなことに挑戦できるようになったので、少しでも興味があるのなら就職以外の候補として考えておくのもいいと思います。（船木研 虎有珠）

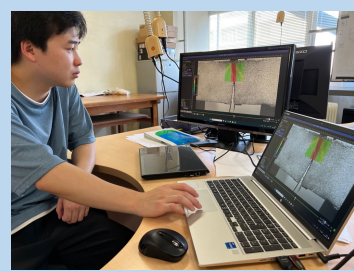
1. 大学院を志した理由は2つあります。1つ目の理由は、社会に出る前にもっと多くの知識を身につけたいと考えたからです。2つ目の理由は、1年間半という研究室活動に短さを感じ、2年間学生生活を延長することでより深い研究室活動を行いたいと考えたからです。
2. 考え始めたきっかけは、大学3年生の夏に参加したインターンシップで他大学の学生と比較し自分自身の知識不足を痛感したためです。そこから、大学3年生の後期の研究室に配属された後に最終的に大学院への進学を決めました。
3. 社会に出る前にもっと多くの知識を身につけたいという考えのもと決めた大学院への進学ですが、その目的はしっかり達成できていると感じています。学部同様大学院でも授業がありますが、全てが選択授業であるため、興味ある分野の授業を受けることができるようになっています。また、成果物を発表する機会が多くあるため、プレゼンテーションスキルなど、専門的な知識以外も身に着けることができているように感じています。
4. 大学院へ進学することで就職活動で2年間猶予をもらえるという点がメリットの一つです。私自身大学院へ進学することで就きたい業種をゆっくり決められました。そのため、就職活動をゆっくり行いたいと考えている人にも大学院への進学を勧めたいです。（中村研 武見理々華）

1. 私が将来なりたい職業（構造設計の仕事）は大学院を卒業することでなりやすくなるから。また、海外旅行をしたかったから。
2. 2年生の夏。
3. 授業で知識がとことん深くなった。
4. 大学院に行くことは良いことがたくさんあるので、就職を考える前に大学院も考えてほしいです。（薛研 八島恵）

1. 設計職に就きたく就職の幅を広げるためと、福祉施設のことに更に関心したため。
2. 3年生の後期
3. 学部の授業とは違い、自身で発表したり意見を話したりすることが多いため考えたり調べたりすることが増えて学ぶことがとても多い。
4. より多くの経験や学びがあるし、少しでも進学に興味があればぜひおすすめです。（石井研 山川凜花）

**春季推薦（5月出願）は奨学金もあります。進路の一つとして早めに意識するとよいでしょう。**

**Pick Up Lab.** 菊田研究室では高引力な化学合成繊維やカーボンナノチューブを混入した繊維補強セメント系複合材料や宇宙開発でも使用されるエアロゲル等を用いた超高断熱コンクリートなど、先端材料とセメントの複合化研究を進めています。コンクリートの研究というと、古臭い、地味など・・・マイナスなイメージを持つ方も多いと思いますが、料理のレシピのように、コンクリートの構成材料をほんの少し変化させるだけでも、劇的に性能が変化することもある非常に面白い研究です。まだ世の中にない、全く新しい可能性を秘めた新材料の研究を学生の皆さんと共に進めていきたいと思っています。



4年生による研究風景



4年 小野寺 翔平 さん  
気仙沼高校 出身

**Pick Up Student** 工大に入学してから4年目になり、学生として過ごす最後の年になりました。先日、就職先も無事に決定し、現在は卒業論文に向けて実験などの作業や、宅建士の資格取得に向けての勉強をしています。私はこの工大での生活から時間の大切さを学びました。これまでの生活を振り返ると、私はその時間をあまり有意義に使えていなかったように思います。だからこそ皆さんには、自分で自由に使える時間が多い大学での生活を、ただなんとなく過ごすのではなく、積極的に自分の興味のあることにチャレンジするなど、後悔のないものにしてほしいと思います。私も残り少ない学生生活ですが、時間を大切に使いいき充実したものにしたいと思います。



1年 佐藤 美春 さん  
仙台三桜高校 出身

**Pick Up Student** 高校2年生の時、何気なく参加したオープンキャンパスで先輩方が楽しそうに学科のことや学校生活のことを教えてくれたことで、興味を持ち、入学を決めました。私は普通科、文系の高校出身だったので理系の教科は苦戦していますが、先生方にサポートしてもらいながら取り組んでいます。専門科目は課題が大変なこともあります。工業高校出身の友人に教えてもらいながら課題の提出に向けて頑張っています。また、建築学科に入り、建築は理系の分野だけではなく、芸術的な分野も多く入っていると実感しました。これから、建築物を沢山見に行ったり、建築で使用するソフトを使ってみたり、自主的に建築に関わっていきたいです。そして、後期からはより専門的なことを学ぶのが楽しみです。